施設概要

（令和６年４月１日現在）

施設名		開館時間	
白井駅前公民館 （白井駅前センター内）		公民館業務 児童館業務 図書室業務 老人憩いの家	午前９時～午後９時 午前９時～午後８時 午前９時～（閲覧） 午前９時３０分（貸出）～午後５時 午前９時～午後５時
所在地	〒２７０－１４２４ 白井市堀込１－２－２	併設施設	児童館・図書室・老人憩いの家 白井駅前地域包括支援センター
TEL	０４７－４９７－１１５１	FAX	０４７－４９７－１１５２
メール	shiroiekimae@roukyou.gr.jp		
休館日	月曜日・国民の休日 １２月２９日～翌年１月３日	駐車場	１６台（内１台障がい者専用）
職員構成 R５年４月現在	センター長１人　事務職１人　児童厚生員４人 （非）児童厚生員５人　司書１人　図書館経験者２人　夜間管理３人　合計１７人		
貸出施設	１時間あたりの施設使用料（社会教育認定団体は２分の１）		

施設名	定員	９：００～２１：００	付帯設備
作法室	３６ 名	３５０ 円	座卓１０台・鏡４台 囲碁盤５面・碁石６セット　他
調理実習室	２４ 名	７２０ 円	椅子２３脚・調理台４台・炊飯器３台 ガスオーブン４台・電子レンジ２台
研修室Ⅰ	１８ 名	２５０ 円	机６台・椅子１８脚
研修室Ⅱ	２４ 名	２５０ 円	机８台・椅子２４脚
視聴覚室	４２ 名	７８０ 円	机１０台・椅子３５脚・ピアノ１台 DVD１台・テレビ１台・ビデオ１台 ブルーレイ（再生のみ）１台
レクリエーションホール	１００ 名	９７０ 円	卓球台４台・バトミントン用ネット及び ポール各１セット

貸し出し可能備品	ホワイトボード・スクリーン・可動式DVD・可動式ビデオ　他

令和5年度　公民館等団体別利用状況
（白井駅前公民館）

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	44	734	162	1,597	9	93	17	197	9	90	10	48	251	2,759
5	36	625	149	1,513	7	67	14	145	6	140	13	98	225	2,588
6	36	647	151	1,538	8	73	10	118	6	147	16	83	227	2,606
7	38	704	184	1,624	6	49	11	126	11	155	12	59	262	2,717
8	41	617	134	1,261	9	76	10	132	11	124	15	97	220	2,307
9	47	714	140	1,153	9	77	11	142	14	163	19	117	240	2,366
10	43	840	172	1,639	6	50	11	152	30	536	14	82	276	3,299
11	34	593	173	1,553	10	113	15	192	11	146	14	74	257	2,671
12	34	653	159	1,404	7	65	12	160	12	172	10	60	234	2,514
1	42	825	165	1,429	10	103	13	169	8	151	10	62	248	2,739
2	37	598	165	1,466	10	102	12	143	5	74	20	117	249	2,500
3	33	657	171	1,880	8	87	11	131	23	1,406	23	158	269	4,319
合計	465	8,207	1,925	18,057	99	955	147	1,807	146	3,304	176	1,055	2,958	33,385

□の合計が必ず一緒になるように
各部屋の年間利用率を記入する欄を追加しましたので忘れずに記入してください。
年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。（小数点第2位を四捨五入）

令和5年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数（件）	利用人数（人）	年間利用率（%）
研修室　1・2	294	4,868	23.5
研修室　1	250	1,813	14.9
研修室　2	286	2,145	18.6
作法室	476	4,249	31.2
調理室	50	688	8.5
視聴覚室	586	7,465	36.5
レクホール	1,016	12,157	62.4
合　　計	2,958	33,385	

令和５年度白井駅前公民館　事業報告

１　運営方針

（１）全体の運営方針

・子どもから高齢者・障がい者まで多様な世代が集い学ぶことをきっかけに、地域のにぎわいや活力を生み出す関係をつくり、孤立化を防ぎ、災害時などにも支え合える地域づくりまちづくりを進める。

・地域の小中学校・高等学校と連携を図り、子どもたちの社会参加を促進し、活躍できる場を提供していく。

・コロナ禍で停滞、変質した市民活動を再構築し、より現代的な活動への昇華を図る。

（２）分野別方針

	運営目標
家庭教育 （１）	①若い世代への子育て支援を行い、地域全体で子育てを支える仕組みをつくる。 ②同世代の子どもを持つ保護者同士の交友関係を広げ、安心して子育てできる環境をつくる。
青少年教育 （２）	①学年・学区の異なる子どもたちの交流を図る。 ②学習、体験、活動を通して、その技術を身に付けると共に学ぶ楽しさを実感する。 ③講座を通して社会に目を向け、視野を広げる。
成人教育 （３）	①生涯学習の楽しさや意義を学ぶ。 ②講座を通して（世代間）交流を図る。 ③地域を支え、繋げていく担い手を育成する。 ④日々の暮らしを充実させ、地域を支える仕組みをつくる。 ⑤社会的に孤立した人に集いの場を用意し、充実した生活への活力を生む。
団体育成 （４）	①新規団体や活動が停滞した団体をサポートし、活性化を目指す。

（３）令和５年度　重点的に実施した項目（講座・事業など）

・市民サロンを再開し、集いの場を提供した。

・学び直しに気軽に取り組むことができる成人向けの連続講座を実施した。

2　白井駅前公民館講座実施報告

（1）学習講座事業

対象	学級講座名		回数	参加人数
家庭教育（1）	Ｂａｂｙ　ｔｉｍｅ（児童館共催）	①②	7回	延べ６０人
	チビちゃんポケット（児童館共催）	①②	7回	延べ８８人
	子育てサロン（児童館共催）	①②	3回	延べ５５人
青少年教育（2）	トライアカデミー～ものづくり教室～（定期講座･児童館、憩いの家共催）	①②	１０回	１４人
	ジョイキッズ（児童館共催）	①②③	4回	延べ２２人
	夏休み子ども工作教室（児童館、憩いの家共催）	①②	1回	8人
成人教育（3）	バンドチャレンジ講座６（定期講座・児童館、憩いの家共催）	①②③④	１５回	１５人
	ライフサポート講座（憩いの家共催）	②③④	1回	２５人
	おとなの学校（定期講座・憩いの家共催）	①②④	8回	２４人
	大人の運動会（憩いの家共催）	①②⑤	1回	１４人
団体育成（4）	施設予約サービス　システム勉強会～スマホｖｅｒ～	①	4回	延べ7人
	団体育成＆紹介～わくわくサロン～（憩いの家共催）	①	8回	延べ１５２人

（2）講座以外に行った事業

・地域懇談会（利用団体連絡会）
・白井市第５次総合計画拠点創造プロジェクト「輪音」（児童館・憩いの家共催）
・駅前ボランティア（児童館・憩いの家共催）
・コミュニティファンド～駅前ファンド～（児童館・憩いの家共催）
・季節を楽しむ会（サロン）（憩いの家共催）
・白井駅前センターフェスティバル（児童館・憩いの家共催）

（3）情報の提供

・センターだより
・子育て通信
・ブログ掲載
・自主事業ポスター掲示、配布
・地域情報誌掲載
・利用者の活動ポスター掲示

（4）施設の提供

・地域住民が地域課題に取り組み、交流を図る場の提供

（5）「with コロナ」「after コロナ」時代に向けた対応

・コロナ禍で停滞、変質した市民活動を再構築するため、団体と個人のマッチングをねらいに取り込んだ「わくわくサロン」を実施した。

・「おとなの学校」において富岡製糸場と繋いでリモート修学旅行を実施し、感染症への不安がある方々も有意義な学びの時間を過ごすことができた。

・日々の運営の中で、衛生管理や環境整備を徹底した。

3　事業の評価

（1）分野別方針

	評　価
家庭教育 （1）	・定期講座に参加する中で顔見知りになり、活発に情報交換している姿がみられた。
青少年教育 （2）	・地域、学年の異なる子ども達が参加した。制作中は互いに教え合い、できた物で遊びながら交流できた。 ・学習、体験活動を通して技術が向上し楽しく参加できた。
成人教育 （3）	・定期的に講座に参加することで、学習を深めることができた。 ・日々の暮らしに役立つことを学び、日々の生活を充実させることができた。
団体育成 （4）	・団体が抱える課題解決に向け、アプローチできた。また、発表の場を設けたことで会員以外の方にも活動を知っていただく機会となった。

（2）令和５年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評価
市民サロンを再開させることで、地域住民の集いの場を作ることができた。しかし、地域全体を巻き込むような盛り上がりには繋がらず、新たな展開の必要性を感じた。 様々な学びを提供することで生涯学習の意義を感じてもらうことができた。次年度は年代を変え、青少年にもさらなる学びの場を提供していきたい。

講座・学習プログラム【家庭教育】

講 座 名	Ｂａｂｙ　ｔｉｍｅ（児童館共催）		
対　　象	生後２か月～１歳までの子とその保護者		
募集人数	各回７組	参加人数	延べ２７組６０人
事業の課題と目標 課　題 ・核家族化で、日中親だけで過ごし、地域とのつながりも少なく孤立感を持つ保護者が増えている。 目　標 ・生後２か月～１歳までの乳幼児と保護者とのふれあい遊び等を通し、親子の絆を深め、親子同士の交流を図る。			
学習期間	令和５年４月～令和６年２月	学習場所	児童館（チャイルドルーム）
回　　数	７回	講　　師	当館職員
学習内容	・季節の制作をしながら、参加者同士で交流する。 ・親子でふれ合い遊びを通し、親子の絆を深める。		
予　　算	総額：３，５００円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　０円 その他事業費　３，５００円	決　　算	総額：１，４３０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　０円 その他事業費　１，４３０円
事業参加者への配慮等 ・参加者みんなが楽しめるよう配慮する（孤立しないように）。 ・次回の案内をして参加してもらうよう声掛けをする。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・制作しながら話し合うことで、情報交換ができた。 ・親子で遊び、子ども達も安心して過ごすことができた。			
備　　考 ・ ・			

講 座 名	チビちゃんポケット（児童館共催）		
対　　象	１歳以上の幼児とその保護者		
募集人数	各回１０組	参加人数	延べ４０組８８人
事業の課題と目標 課　題 ・最近の都市化や核家族化に加え、地域の人間関係の希薄化等により、子育て中の親の育児に対する不安感や負担感の増大、育児の孤立化が起きている。 ・ 目　標 ・集まった親同士が情報交換（育児・生活・あそび・勉強）をしながら「子育ての輪づくり」や家庭・地域での「あそびの環境づくり」ができるよう支援していく。 ・様々な製作を通し、季節を感じ、子どもの成長を見守る。			
学習期間	令和５年４月～令和６年２月	学習場所	児童館（小学生ルーム）
回　　数	７回	講　　師	当館職員
学習内容	・季節の制作をしながら、参加者同士交流する。 ・親子でふれ合い遊びを通し、親子の絆を深める。		
予　　算	総額：３，５００円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　０円 その他事業費　３，５００円	決　　算	総額：１１０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　０円 その他事業費　１１０円
事業参加者への配慮等 ・参加者みんなが楽しめるよう配慮する（孤立しないように）。 ・次回の案内をして参加してもらうよう声掛けをする。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・制作しながら話し合うことで、情報交換ができた。 ・親子で遊び、子ども達も安心して過ごすことができた。・			
備　　考 ・ ・			

<table>
<tr><td>講 座 名</td><td colspan="4">子育てサロン（児童館共催）</td></tr>
<tr><td>対　　象</td><td colspan="4">①子育て中の保護者と子　５歳～小学生
②２か月～未就園児とその保護者
③子育て中の保護者（子どもと一緒の活動も可）</td></tr>
<tr><td>募集人数</td><td colspan="2">①８組　②１０組　③１０人</td><td>参加人数</td><td>延べ５５人</td></tr>
<tr><td colspan="5">事業の課題と目標
課　題
・子育て中は、行動範囲も限られた様々な人との関わりが少なくなりがちである。
・核家族やひとり親の増加に伴い、気軽に育児の相談をしたり、話題にしたりできず不安を抱えてしまう傾向にある。
目　標
・参加者同士が交流を図ることで、交流関係を広げる。
・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれ子育ての悩みなどを気軽に話すことや講師の話を聞くことで、子育てに少しでも活かせるようにする。</td></tr>
<tr><td>学習期間</td><td colspan="2">令和５年１０月～令和６年１月</td><td>学習場所</td><td>①調理室　②③作法室</td></tr>
<tr><td>回　　数</td><td>３回</td><td>講　　師</td><td colspan="2">①ニップン　佐藤加代子さん
②おひるねアート協会認定講師
戸村由香里さん
③ＳＣヨーガインストラクター
関あすかさん</td></tr>
<tr><td>学習内容</td><td colspan="4">・パン生地をこねて発酵させ、親子で動物パンを作る。
・講師からおひるねアートの撮影の仕方のアドバイスを受け、保護者が撮影する。
・講師指導のもと、ヨガを行う。</td></tr>
<tr><td>予　　算</td><td colspan="2">総額：３００００円
※うち参加者負担金：８，０００円
内訳：講師料　１６，７０４円
その他事業費　１３，２９６円</td><td>決　　算</td><td>総額：２４，１９３円
※うち参加者負担金：７，４００円
内訳：講師料　１６，７０４円
その他事業費　７，４８９円</td></tr>
<tr><td colspan="5">事業参加者への配慮等
・参加者同士、和気あいあいと取り組めるようにする。
・誰でも話しやすくなるような雰囲気づくりを心掛ける。</td></tr>
<tr><td colspan="5">事業の成果（課題や目標に対して）
・親子で一緒にパン作りの体験ができ、楽しくふれ合えた。
・撮影後に行った茶話会では賑やかに交流できた。</td></tr>
<tr><td colspan="5">備　　考
・</td></tr>
</table>

講座・学習プログラム【青少年教育】

講 座 名	トライアカデミー～ものづくり教室～（定期講座・児童館・憩いの家共催）		
対　　象	小学３～６年生		
募集人数	１２人	参加人数	１４人
事業の課題と目標 課　題 ・異学区、異学年の子ども同士が交流するきっかけが少ない。 ・子どもがものづくりに興味を持ち、学習するきっかけとなる機会が少ない。 目　標 ・工作活動を通じて、アイデアを具現化する能力と技術を持った創造性豊かな人間形成を図る。 ・常に新しいものづくりに挑戦する気持ちを持つこと。更にチャレンジ精神やプラス思考を養う。 ・人と人とのふれあいを通じて豊かな心を育てる。			
学習期間	令和５年５月～令和６年２月	学習場所	研修室Ⅰ・Ⅱ
回　　数	１０回	講　　師	近藤雅昭さん、柿沼春雄さん、言後良一さん 川上博行さん、瀧野宏さん、高地徹郎さん
学習内容	・工作の基本を学び、道具や用具の使い方に慣れる。 ・動く仕組みを理解し、制作する。		
予　　算	総額：７０，０００円 ※うち参加者負担金：４２，０００円 内訳：講師料　２７，８４２円 その他事業費　４２，１５８円	決　　算	総額：７６，８４２円 ※うち参加者負担金：４９，０００円 内訳：講師料　２７，８４２円 その他事業費　４９，０００円
事業参加者への配慮等 ・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるよう配慮する。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・道具や用具の安全で上手な使い方に慣れることができた。 ・根気よく制作し、楽しく工作することができた。 ・アイデアを生かし、工夫ができた。			
備　　考 ・ ・			

講 座 名	ジョイキッズ（児童館共催）		
対　　象	小学生		
募集人数	各回８人	参加人数	延べ２２人
事業の課題と目標 課　題 ・異学区や異学年と交流するきっかけが少ない。 ・貧困国について触れる機会が少ない。 ・ 目　標 ・小物を作りながら交流を図る。 ・国際交流、貢献に目を向ける。 ・			
学習期間	令和５年７月～令和６年２月	学習場所	児童館（中高生ルーム）
回　　数	４回	講　　師	当館職員
学習内容	・「手作りコースター」、「アルコールインクペンアート」、「ストリングアートのクリスマスツリー」、「ミニうさぎおひなさま」の制作を行った。 ・毎回、ゲームやクイズも取り入れ交流を図った。		
予　　算	総額：１０，８００円 ※うち参加者負担金：９，２００円 内訳：講師料　０円 その他事業費　１０，８００円	決　　算	総額：９，９８８円 ※うち参加者負担金：６，３００円 内訳：講師料　０円 その他事業費　９，９８８円
事業参加者への配慮等 ・怪我をしないように気を付ける。 ・楽しく参加できる雰囲気をつくる。 ・			
事業の成果（課題や目標に対して） ・楽しく製作を進め、満足のいく作品ができた。 ・ブルキナファソへの寄付にするための作品も作り、ボランティア活動に触れることができた。 ・共に活動することで、交流が広がった。			
備　　考 ・ ・			

<table>
<tr><td>講 座 名</td><td colspan="4">夏休み子ども工作教室（児童館・憩いの家共催）</td></tr>
<tr><td>対　　象</td><td colspan="4">小学３～６年生</td></tr>
<tr><td>募集人数</td><td colspan="2">１５人</td><td>参加人数</td><td>８人</td></tr>
<tr><td colspan="5">事業の課題と目標
課　題
・工作を作るのに何をどう作るか考えるのが難しい。
・
・
目　標
・工作活動を通して、ものづくりの技術を持った造形豊かな人間形成を図る。
・人と人とのふれあいを通して豊かな心を育てる。
・</td></tr>
<tr><td>学習期間</td><td colspan="2">令和５年７月</td><td>学習場所</td><td>研修室Ⅰ・Ⅱ</td></tr>
<tr><td>回　　数</td><td>１回</td><td>講　　師</td><td colspan="2">近藤雅昭さん</td></tr>
<tr><td>学習内容</td><td colspan="4">・クランクとゴム動力を使って、きょうりゅうのあかちゃんが歩く仕組みを作る。
・クランクを巻いて動くおもちゃを仕上げる。</td></tr>
<tr><td>予　　算</td><td colspan="2">総額：１０，０００円
※うち参加者負担金：３，０００円
内訳：講師料　５，５６８円
その他事業費　４，４３２円</td><td>決　　算</td><td>総額：７，１６８円
※うち参加者負担金：１，６００円
内訳：講師料　５，５６８円
その他事業費　１，６００円</td></tr>
<tr><td colspan="5">事業参加者への配慮等
・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。</td></tr>
<tr><td colspan="5">事業の成果（課題や目標に対して）
・いろいろな材料をカッターやラジオペンチ、接着剤を使って工作することができた。
・ゴムの力やクランクを連動させ、歩く仕組みを理解して制作できた。
・</td></tr>
<tr><td colspan="5">備　　考
・
・</td></tr>
</table>

講座・学習プログラム【成人教育】

講 座 名	バンドチャレンジ講座６（定期講座・児童館・憩いの家共催）		
対　　象	中学生以上		
募集人数	１５人	参加人数	１５人
事業の課題と目標 課　題 ・バンドに挑戦したいが、市内で教えてくれる人も場所もない。 ・音楽を披露する場が少ない。 目　標 ・音楽活動を通じて世代間交流を図る。（白井市第５次総合計画～拠点創造プロジェクト～） ・音楽で地域の活性化を図る。			
学習期間	令和５年４月～令和５年１０月	学習場所	視聴覚室・レクホール・憩いの家
回　　数	１５回	講　　師	・鳥集徹さん　・石井健一さん ・折山光男さん・渋谷健太郎さん
学習内容	・バンド練習を通して世代間交流を図った。 ・地域活性化を目指した取り組みである「チャリティライブ輪音」に参加した。		
予　　算	総額：１８０，０００円 ※うち参加者負担金：３０，０００円 内訳：講師料　１３３，６４４円 その他事業費　４６，３５６円	決　　算	総額：１８８，５５４円 ※うち参加者負担金：４５，０００円 内訳：講師料　１３３，６４４円 その他事業費　５４，９１０円
事業参加者への配慮等 ・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・中学生からシニアまで、世代間交流を図りながら活動できた。 ・白井駅前のイルミネーションへの寄付を目的としたチャリティライブに参加し、地域活性化に貢献した。同時に、他団体との交流も深められた。 ・講座参加者を中心としたサークルが、センターフェスティバルで発表した。			
備　　考 ・ ・			

講 座 名	ライフサポート講座（憩いの家共催）		
対　　象	一般		
募集人数	１５人	参加人数	２５人
事業の課題と目標 課　題 ・老後にお金で後悔しないように考えている人が増えているが、専門知識を学べる場がない。 ・資産形成のためのアドバイスをしてくれる人がいない。 ・ 目　標 ・個人の自助努力による資産運用が可能となるよう、お金に関する基礎知識を学ぶ。 ・より良い暮らしや適切な資産形成の為、知識、判断力など金融リテラシーを学ぶ。			
学習期間	令和５年１１月	学習場所	研修室Ⅰ・Ⅱ
回　　数	1回	講　　師	日本証券業協会 金融･証券インストラクター　寺林弘樹さん
学習内容	・今後を考えたライフプラン「ＮＩＳＡ」の利用について。 （ライフプラン・マネープランの必要性等）		
予　　算	総額：1、０００円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　０円 その他事業費　1、０００円	決　　算	総額：２１０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　０円 その他事業費　２１０円
事業参加者への配慮等 ・一人でも参加しやすい環境や雰囲気づくりをする。 ・集中しやすい雰囲気を心掛ける。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・今後のライフプランのために金融リテラシーを学ぶ事ができた。 ・資産運用の基礎知識を学ぶ事ができた。			
備　　考 ・ ・			

講 座 名	おとなの学校（定期講座・憩いの家共催）		
対　　象	一般		
募集人数	１２人	参加人数	２４人

事業の課題と目標
課　題
・変化が激しく複雑化する社会において、これまでの価値観のみに依存せず、多様性を受け入れていく探究的な学びが必要とされている。
・コロナ禍において集いの場や各活動への制約があり、直接交流する機会が減少した。
目　標
・気軽に学び直しに取り組める事業を展開し、そこから新たな視野を広げる。
・コロナ禍で停滞・変質した活動を再構築する。（集い、交流の場づくり）

学習期間	令和５年９月～令和５年１２月	学習場所	憩いの家・視聴覚室・調理室
回　　数	８回	講　　師	・元都立高校教諭　　栗原茂幸さん ・日本朗読検定協会認定講師プロフェッサー 森田清香さん ・スウィングホワイトジャズオーケストラ メンバー：野津道夫さん、松尾佳奈さん ・東邦大学名誉教授　横山祐作さん ・ワーカーズコープ　石川伸樹、現地解説員
学習内容	・社会「日本近代１５０年史を振り返る～前編・後編～」 ・国語「いま　ふたたび新しく宮沢賢治を知る」 ・音楽「ようこそ！ＪＡＺＺの世界へ！」 ・リモート修学旅行「世界遺産　富岡製糸場に行ってみよう！」 ・数学「量と数～その数え方～」 ・理科「冷たい！あったかい！楽しい化学実験」		
予　　算	総額：１００，０００円 ※うち参加者負担金：２４，０００円 内訳：講師料　５０，１１５円 その他事業費　４９，８８５円	決　　算	総額：１１８，９２３円 ※うち参加者負担金：４８，０００円 内訳：講師料　５０，１１５円 その他事業費　６８，８０８円

事業参加者への配慮等
・楽しく学べる環境設定に配慮する。
・会場が複数あるため、迷わないよう案内する。

事業の成果（課題や目標に対して）
・定期講座のため、日頃の関心事以外のテーマにも向き合い、視野を広げることができた。
・実験等のグループワークを通じて、参加者同士が交流しながら活動することができた。

備　　考

講 座 名	大人の運動会（憩いの家共催）		
対　　象	一般		
募集人数	２４人	参加人数	１４人

事業の課題と目標
課　題
・「体力維持」「健康づくり」のための運動に取り組むことは難しい。
・運動を苦手とする方が、体を動かすことの楽しさを体験する機会が少ない。
目　標
・指導を受けながら運動をすることで、年齢に合った体力づくりに取り組む。
・子どもの頃に経験した行事を懐かしむと共に、参加者同士が交流を図ることで、心身ともに豊かな時間を共有する。

学習期間	令和６年３月	学習場所	レクホール
回　　数	１回	講　　師	スタジオインストラクター 北川真希さん・関あすかさん
学習内容	・健康体操 ・記録にチャレンジ（片足立ち、フラフープくぐり、スクワット等） ・青竹を使った運動		
予　　算	総額：１５，０００円 ※うち参加者負担金：４，８００円 内訳：講師料　１１，１３６円 その他事業費　３，８６４円	決　　算	総額：１３，５２６円 ※うち参加者負担金：３，２００円 内訳：講師料　１１１３６円 その他事業費　２，３９０円

事業参加者への配慮等
・怪我のないよう配慮する。
・運動が苦手な方でも楽しみながら取り組めるよう、配慮する。

事業の成果（課題や目標に対して）
・参加者が自分の体力に対して気づきを得ることができた。
・参加者同士、交流を図りながら楽しいひとときを過ごすことができた。

備　　考
・
・

講座・学習プログラム【団体育成】

講 座 名	施設予約サービス　システム勉強会　～スマホｖｅｒ～		
対　　象	・公民館登録をしていてスマートフォンを使用できる方 ・ＡＢコース、各両日参加できる方		
募集人数	各３団体（１団体２人まで）	参加人数	延べ７人
事業の課題と目標 課　題 ・スマートフォンを使った施設予約の仕方がわからず、サークルや団体内で施設予約係になった方が苦慮されている。 ・コロナ禍において停滞傾向にあるサークルや団体活動をサポートする必要がある。 目　標 ・コロナ禍で停滞傾向にあったサークルや団体活動をサポートする。 ・スマートフォンを使った施設予約方法を学び、サークルや団体活動の事務的負担を軽減する。			
学習期間	令和５年４月	学習場所	研修室Ｉ
回　　数	４回（１回２日間）	講　　師	当館職員
学習内容	・施設予約システムについての勉強会 （抽選申し込み、抽選結果確認、確定　等）		
予　　算	総額：０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　０円 その他事業費　０円	決　　算	総額：０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　０円 その他事業費　０円
事業参加者への配慮等 ・感染症拡大防止に努める。 ・話しやすい環境設定に配慮する。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・施設予約係の負担、不安が軽減された。 ・継続的な団体活動を支援することができた。			
備　　考 ・ ・			

講 座 名	団体育成＆紹介～わくわくサロン～（憩いの家共催）		
対　　象	一般		
募集人数	―	参加人数	延べ１５２人
事業の課題と目標 課　題 ・地域の住民同士が気軽に交流できる場が少ない。 ・コロナ禍の影響により、市民団体の活動を発表する場が減少している。 目　標 ・お茶や食事を楽しみながら交流できる地域住民の居場所をつくる。 ・団体活動の成果を発表し、市民活動を活性化させる。			
学習期間	令和５年６月～令和５年１２月	学習場所	憩いの家
回　　数	８回	講　　師	―
学習内容	・利用団体の活動発表、会員募集。 ・ドリンクを用意し、参加者同士気軽に交流を図る（サロン）。		
予　　算	総額：２０，０００円 ※うち参加者負担金：１２，０００円 内訳：講師料　０円 その他事業費　２０，０００円	決　　算	総額：１９，８５２円 ※うち参加者負担金：１１，８００円 内訳：講師料　０円 その他事業費　１９，８５２円
事業参加者への配慮等 ・話しやすい環境設定に配慮する。 ・継続的に来場してもらえるよう次回の案内をする。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・地域住民が誘い合って訪れ、参加者同士交流する場となった。 ・団体が日頃の活動を発表できた。 ・団体が会員を募集する機会となった。			
備　　考 ・ ・			

事業活動

事 業 名	地域懇談会（利用団体連絡会）		
対　　象	一般		
参加人数	１７団体１８人		
事業の課題と目標 課　題 ・当館利用者同士、交流を図る場が少ない。 ・地域課題の掘り起こしをする必要がある。 ・ 目　標 ・各団体同士活動を知り、コミュニケーションを図る。 ・広く地域の方々と関わりを持つ。 ・利用者の意見を聞き当館の事業活動を豊かにしていく。			
期　　間	令和５年７月	回　　数	１回
場　　所	研修室Ⅰ・Ⅱ		
事業内容	・団体代表者自己紹介 ・令和４年度白井駅前センター事業報告 ・令和５年度事業計画について　　他		
事業参加者への配慮等 ・話しやすい雰囲気をつくる。 ・事業内容について理解してもらえるよう解説する。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・利用者同士、顔を合わせて話をしたり、交流したりする機会となった。 ・館運営や事業について、情報共有を図ることができた。 ・サークルの備品についてもルールを確認したり、整理したりすることができた。			
備　　考 ・ ・			

事 業 名	白井市第５次総合計画拠点創造プロジェクト 「輪音」（児童館・憩いの家共催）		
対　　象	一般		
参加人数	１５６人		
事業の課題と目標 課　題 ・少子高齢化時代において、世代や境遇を超えて地域が一体化する機会を設け、繋がりを強化する必要がある。 目　標 ・白井市第５次総合計画“拠点創造プロジェクト”に基づき、地域の人々が繋がる為のきっかけをつくる。 ・参加者、来場者が交流を図る。また、音楽で地域の活性化を図る。 ・白井駅のイルミネーションを行っている団体（白井駅前商店会）へのチャリティライブとして開催し、参加者・来場者が地域理解を深め、地域活性化に関われるようにする。			
期　　間	令和５年１０月	回　　数	１回
場　　所	レクホール、研修室Ⅰ・Ⅱ、作法室、調理室、視聴覚室、憩いの家		
事業内容	・音楽発表 ・地域の商店による販売 ・ワークショップ		
事業参加者への配慮等 ・感染症拡大防止に努める。 ・機材が重いのでケガに気を付ける。 ・皆でつくり上げるイベントとなるよう、配慮する。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・白井駅前のイルミネーションに寄付することができ、以前より長期間照らすことができた。 ・音楽を通じて参加者、来場者が交流を図ることができた。 ・地域の拠点として、地域活性化につながる世代を超えた盛り上がりがあった。			
備　　考 ・ ・			

事 業 名	駅前ボランティア（児童館・憩いの家共催）		
対　　象	一般		
参加人数	延べ３３４人		
事業の課題と目標 課　題 ・高齢者が多い地域なので、若い世代を交えた地域づくりが必要。 ・市民同士の世代間交流、つながりづくりが必要。 目　標 ・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。			
期　　間	令和５年４月～令和６年３月	回　　数	開館日
場　　所	全館		
事業内容	・清掃、環境整備 ・イベントサポート ・子育て支援　　等		
事業参加者への配慮等 ・ボランティア精神に感謝し、参加者にも気遣いを忘れない。 ・地域の方々にも、館運営に協力してくれていることを知らせる。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・館内外のメンテナンスをしていただき、活動環境が整った。 ・様々な事業にご協力いただくことで、充実した活動ができた。			
備　　考 ・ ・			

事 業 名	コミュニティファンド～駅前ファンド～（児童館・憩いの家共催）		
対　　象	一般		
参加人数	―		
事業の課題と目標 課　題 ・地域の問題、課題を自らの力で解決する意識を住民・利用者が持ち、行動に移すことがまちづくりとして必要。 ・市の中心地である白井駅前に賑わいを創出し、まちづくりを活性化させることが必要。 ・ 目　標 ・ドリンク販売を通じて自発的に寄付したり、資金を提供し合ったりすることで、館利用者や地域住民、団体自らが地域課題を解決する循環システムを構築する。 ・			
期　　間	令和５年４月～令和６年３月	回　　数	開館日
場　　所	ドリンク販売：１階ロビー		
事業内容	・ドリンク販売の売り上げを商店会に寄付し、白井駅前のイルミネーションに役立てていただく。		
事業参加者への配慮等 ・地域課題に市民、利用者が自発的に取り組むきっかけづくり、意識づくりを行う。 ・			
事業の成果（課題や目標に対して） ・ロビーで販売したドリンクの売り上げと、チャリティライブ「輪音」で集まった寄付金を合わせて白井駅前商店会に寄付し、駅前のイルミネーションに役立てていただいた。 ・ ・			
備　　考 ・１１月１７日、白井駅前商店会に５７，８８５円の寄付を行った。 ・			

事 業 名	季節を楽しむ会（サロン）（憩いの家共催）		
対　　象	一般		
参加人数	延べ５７人		
事業の課題と目標 課　題 ・外に出ることが少なく、家に閉じこもりがちな方がいる。 ・地域の方々が気軽に集まる場が少ない。 ・ 目　標 ・地域の方々に気軽に足を運んでいただき、季節の移ろいを楽しみ、生活のうるおいの一助となることを目指す。			
期　　間	令和５年４月～令和５年１２月	回　　数	４回
場　　所	憩いの家		
事業内容	・憩いの家へ足を運ぶ機会となるように、職員の演奏を聴いていただく会を設ける。		
事業参加者への配慮等 ・楽しい雰囲気で参加できるようにする。 ・感染対策に留意する。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・「会の実施を楽しみにしている」との声をいただいた。 ・聴きなじみのある曲や知らない曲等に触れ、楽しんでいただいた。 ・			
備　　考 ・ ・			

事 業 名	白井駅前センターフェスティバル（児童館・憩いの家共催）		
対　　象	地域住民		
参加人数	１２８９人		
事業の課題と目標 課　題 ・日頃の学習成果を発表する機会を設け、生涯学習の意義を伝える必要がある。 目　標 ・駅前センター利用者が、日頃の成果を発表することや市民に生涯学習の意義や楽しさを伝える機会とする。 ・地域の団体、組織が一同に会することで交流を図り、地域活性化につなげる。			
期　　間	令和６年３月	回　　数	１回（２日間）
場　　所	全館		
事業内容	・当館利用団体や地域の団体による展示、発表、販売　等。		
事業参加者への配慮等 ・ケガに気を付ける。 ・駐車場等の点で、近隣の方に配慮する。 ・参加者や来館者が楽しめるよう、サポートする。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・参加者、来場者が生涯学習や地域活動について理解を深めることができた。 ・多くの方が来館し、賑やかに実施できた。 ・			
備　　考 ・ ・			